

【礼拝賛美】鹿のように(2回)

谷川の流れを慕う 鹿のように
主よわが魂 あなたを慕う
あなたこそ わが盾 あなたこそ わが力
あなたこそ わが望み われは主を仰ぐ

【エペソ書6章 神の7つの武具】

悪魔の攻撃から自らを守り、悪の力を退けるために神様がくださった7つの武具。

1 真理の帯を腰に締める 真理とはイエス様(ヨハネ十四6)。イエス様に留まることで、私たちは真理であるイエス様を知り(ヨハネ八三12)、悪から遠ざかります。

2 正義の胸当てを着ける 悪魔は、私たちが自分を否定し、自分の罪深さや失敗に目が向くようにささやきます。その声に惑わされないためには、私たちの罪がイエス様によって赦され、神の前に正しい(義)者とされていることを受け取り続けることです。

3 平和の福音の備えをはく 神との平和の関係・和解の福音を土台として生きることでです。神との関係が平和であるとき、隣人との関係も平和を築けます。

あらゆる祈りと願いによつて、どんなときにも御霊によつて祈りなさい。
そのためにも、目を覚まして祈り、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くして祈りなさい。

冬季五輪が終わりましたが、2026年はこのあともスポーツの国際大会が数多く行われます。冬季パラリンピック、WBC、サッカーW杯、アジア競技大会・パラ競技大会、ラグビーW杯など、スポーツ観戦が好きな方には楽しみな一年ですね。聖書は、信仰をしばしばスポーツにたとえます。エペソ六章も信仰の戦いについて「格闘」(12)と書いています。この言葉は、ギリシャ語ではレスリングを表す単語だそうです。聖書は、私たちの信仰の戦いをレスリングに重ね合わせ、悪魔の力に立ち向かうようにと励まします。

シオン創立者の岸田愛治牧師は、家庭の

4 信仰の盾をとる 旧約聖書では「盾」は神の守りの象徴(創世記十五1)です。エペソ六16「盾」とは、全身を覆う大きな盾を示します。神様に信頼する時、神様が自身を私たちの盾となつてくださいます。

5 救いのかぶと 「かぶと」は、かぶっている人の地位や立場を示します。私たちは三位一体の神である主イエス様の救いを得て、神の子とされています。その救いの恵みを受け取る時、悪魔は退けられます。

6 御霊の剣、みことば イエス様は、荒野で悪魔の誘惑を受けたとき、みことばによつてそれを退けました(マタイ四)。一方で、悪魔はみことばを曲解して人を誘惑します(創世記三)。だから、みことばを正しく理解し、しっかりと握つて戦うことが大切です。

7 御霊によつて祈る 祈りは、神の御業や神の助けを私たちの生活にもたらす大きな力です。悪魔は、祈っても無駄だと私たちにささやきます。私たちも、祈っても変わらない現実を前にすると諦めそうになります。聖書は忍耐の限りを尽くして祈るようにと私たちを励まします。

エペソ人への手紙 6章18節

ここで祈ってほしいと頼みにきた教会員の姉妹に、「自分で祈れ! 祈つてから来い」と言つたそうです。その姉妹は「人に頼らず自分で祈ることを訓練された。信仰が養われた」と振り返っています。クリスチャンの祈りが御利益的になつたり、自らの責務を担わずに人任せになつてはいけないということを愛治牧師は示したのでしよう。

悪魔の策略を侮つてはいけません。格闘と表現されるほどですから、忍耐深く戦わなければなりません。自分で立ち向かうことが求められます。けれども、神様は私たちに7つの武具を授けてくださいます。勇気を出して立ち向かっていきましよう。

また、信仰は孤独な戦いではなく、冒頭の聖句にある通り、互いのために祈り、支え合うものでもあります。

誰かのために祈ることは、簡単ではありません。「忍耐の限りを尽くして」とあるように、力が必要であり、信仰の熟練が必要です。逆を言えば、互いのための執り成しの祈りが豊かな教会は、成熟した教会といえます。それは、人の努力やがんばりに到達するものではありません。「御霊によつて」祈るのです。神が私を助けてくれた。兄弟姉妹が私のために祈ってくれた。そういう経験の積み重ねで、人は誰かのために祈る者へと聖霊によつて造り変えられます。

個が成長し、共同体も成長します。また共同体によつて個が育てられます。私たちは、個と共同体が共に成長する交わりに置かれています。(泰)

3月1日 聖日礼拝	9時 荻野牧師
小礼拝	11時 中西と兄 高橋美姉
聖日礼拝	黙示録19章5節着席
前奏	聖歌494
招詞	いぎみな来たりて
会衆賛美	鹿のように(2回)
会衆賛美	主の祈り
主の祈り	詩篇146篇1〜10節
交誦	(旧約聖書 1087頁)
礼拝祈禱	エペソ人への手紙
使徒信条	6章10〜20節
聖書朗読	(新約聖書 392頁)
説教	互いのために祈る
聖餐	荻野泰弘牧師
会衆賛美	(小礼拝は礼拝後)
献金	聖歌232 祈れものごと
頌栄	聖歌376 父御子御霊の
祝祷	起立
報告	起立
感謝祈禱	奏楽

【招詞(主の招きのことば)】
ヨハネの福音書4章23節「しかし、まことの礼拝者たちが御霊と真理によつて父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はそのような人たちを、ご自分を礼拝する者として求めておられるのです。」アーメン

【本日の予定】

- 会堂清掃 聖日礼拝後
- 小学校ホザナ礼拝 11時〜3階 お話 林伝道師
- バイブルカフェ お休み
- 各会例会
ダニエル会 6階
ミモザ会 3階
オリーブ会 4階 牧師室
青年会 外部
- 予算委員会 15時〜 牧師室

【来週の礼拝説教】
説教者 林伝道師

【本日の礼拝奉仕者】

- 小礼拝・オンライン配信
礼拝祈禱 荻野牧師
報告 荻野牧師
配信 配信チーム
聖餐 林伝道師

■聖日礼拝

- 礼拝祈禱
- 聖書朗読
- 献金 1階
- 2階
- 献金祈禱
- 報告 司会者
- 会場 荻野牧師
- 受付 林良男
- パワポ パワポチーム
- 聖餐

【今週の予定】

- 5(木) 祈禱会 10時半〜
- 7(土) 青年読書会 9時〜
- 教団総務部会 13時半

【臨時教会総会の開催】

日時 2026年3月15日(日)
午後1時半より
場所 シオン・キリスト教会 礼拝堂
※本日記布 ・臨時教会総会資料
・議決権行使書

※議題に関する質問の事前提出のお願い

今回より、議案に関する質問については、事前に受け付けます。当日総会にご出席の方もご提出ください。
総会席上でも受け付けますが、審議を円滑に進めるために、事前に共有いただけますよう、よろしくお願い致します。

早いもので、3月に入りました。年度の締めくくりであり、新年度の準備の時です。

教会暦としては、受難節(レント)を過ごしています。年度の区切りを迎えて忙しい季節ですが、イエス様の十字架の前に静まり、流された血潮と裂かれた御体の傷が私たちの罪を担ったことを思い巡らし、主のいのちに生かされていることの恵みを味わいましょう。

4月の最初の日曜日はイースターです。イエス様の復活のいのちに押し出されて新しい年度をスタートします。様々な困難を抱えても、復活のいのちが私たちが生かしていることを覚えて、勇気をもって進みましょう。

*3/29 パームサンデー 聖餐礼拝
4月は聖餐を行わずに、3/29に致します。

*4/2 10時半〜 受難週祈禱会
聖餐を行います。

*4/5 イースター礼拝
主の復活を共に祝いましょう。
午後は、合同例会です。

【消息 報告】

・CLUB ZION(1泊)
日程 3月14日(土)〜15日(日)
会場 蒲田シオン

・有志スノーキャンプ
日程 3月30日(月)〜31日(火)
希望者は吉田潔兄、荻野牧師まで

【教勢報告】

- 2/22(日) プレイズサンデー
小礼拝 13名(J2 SO)
- 聖日礼拝 49名(J1 S1)
- 小学校礼拝 2名
- 2/26(木) 祈禱会 18名